

C-45	アセスメントの方法と指導の実際						
研 修 の 目 標			対 象 と 定 員				
児童生徒の特性に応じた指導・支援に生かすことができるように普通の授業や日常の観察から、WISC-V知能検査の概要と基本的な結果の解釈、支援方法まで、アセスメントの在り方について理解を深める。			幼保認	(小)	(中)	(高)	(特)
			教頭、教諭、養護教諭 (WISC-Vの実施や解釈を求められている教員) 40名				
受講申込に当たって	定員超過等で受講申込を受理できない場合のみ、担当から連絡する。						
日 時	研 修 内 容					指標における主な項目	
6/13 (金) 10:00~16:15	OWISC-V知能検査の概要と基本的な検査結果の解釈 (講義・演習) 日本臨床発達心理士会茨城支部 支部長 大六 一志					生徒指導力①④	
備 考	センターを会場として、オンラインによる講義を行う。						
担当者からの メッセージ	発達が気になりな児童生徒の認知特性を知ることは、個に合わせた指導を考える上でとても重要です。この講座は、学級担任等が普通の授業や日常の観察、生育歴等を基にした実態把握や背景要因の分析の方法から、WISC-V知能検査の概要と基本的な結果の解釈まで、アセスメントから分かる特性や学校での具体的な指導・支援について考えることができます。アセスメントの方法を広く、深く学びたい先生方にとって大変参考になる講座です。 ※検査の実施方法を学ぶ講座ではありません。						

連絡先：支援チーム 特別支援教育担当 TEL (018)873-7215